

Q&A

Q1. 専門家派遣を受けるにあたって、費用は必要ですか？

A. 専門家への謝金・交通費等の支払は不要です。ただし、必要経費（ソフトウェアや参考書籍などの購入を希望される場合等）は、実費負担をお願いします。機器の購入補助や助成金の情報提供、申請のサポートを行う場合もあります。

Q2. どの程度まで支援をしてもらえますか？

A. 事前に専門家ヒアリングを行い、その聴き取り内容から課題を整理し、8回にわたる支援方針計画を立てます。初回に団体の皆さんと共有し、その内容に基づいて支援を進めます。支援の最終回には、成果と状況と一緒に振り返り、今後の定着方法等を確認します。対策の実施において団体が主体的に取り組めるよう、必要なサポートを行います。

Q3. ヒアリングとはどのような内容ですか？

A. 1団体あたり20分を予定しています。団体概要や課題について5分程度でお話いただき、15分程度で質疑を行います。事前に提出していただく申込書類について内容の確認を主に進めますので、追加で資料を準備する必要はありません。

●申込方法

(1) 申込方法

・申込フォームまたはE-mailにてお申込みください。

【申込フォーム URL】 <https://forms.office.com/r/Wkx08FTeX0>

・申込書類を電子データで送付できない場合、郵送をご利用ください。

(2) 申込書類

① 申込書

※申込用紙はボランティアネイバース HP に掲載しております。

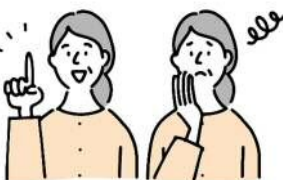
<https://www.vns.or.jp/post-corona2023>

② 添付書類 ※いずれも最新版をご提出ください。

[1] 定款または規約

[2] 決算書（直近の事業年度。設立初年度の決算が終わっていない団体は予算書を添付）

[3] 活動の様子がわかる資料（年間活動報告書、事業報告書、チラシ、パンフレット等）



申込締切
6月26日(月)
当日必着

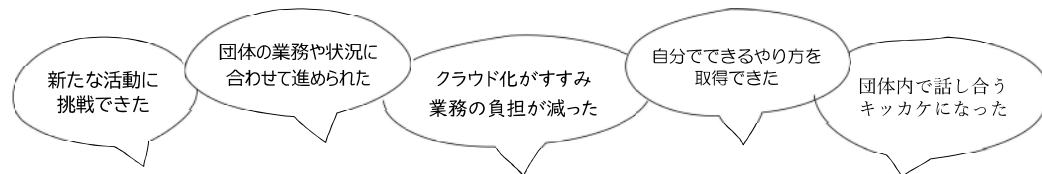
申込
お問合せ先

NPO法人ボランティアネイバース

〒461-0005 名古屋市東区東桜 2-18-3, 702

【TEL】 052-979-6446 (平日 10時～18時) 【FAX】 052-979-6448

【E-mail】 vns@vns.or.jp 【HP】 <https://www.vns.or.jp/>



／ 専門家と一緒に活動をサポートします ／

NPO
向け

令和5年度
ポストコロナを
見据えた

伴走支援

コロナの影響でこれまでのやり方では活動が続けられず、活動スタイルの変更を迫られているケースや
休止を余儀なくされている活動が出てきています。新しい状況やニーズに合わせて
団体の課題と一緒に整理して分析し、専門家を派遣することで活動の継続を応援します！



気になったら
チェック！

- ☐ ポストコロナでの活動継続のためミッションやビジョンを見直したい、事業内容や組織体制を見直したい
- ☐ 対面で会費や寄附をいただく機会が減少した。今後の方策を考えたい
- ☐ クラウドファンディングなどにチャレンジして、新しい事業を始めたい
- ☐ 災害時でも活動を止めるわけにはいかない。団体の実情に合ったBCP（事業継続計画）を整備したい
- ☐ イベントで新たな人と出会う機会が減ってしまった。SNSや動画を活用して活動をもっと知ってもらい、支援を広げたい
- ☐ コロナ禍で乗り越えてきた課題のノウハウやスキルとして形に残したい
- ☐ 長く続けてきた活動を継承していきたい
- ☐ 役員やスタッフ間のコミュニケーションを円滑にするために、場の持ち方を見直したり、オンラインツールを導入したりしたい
- ☐ スタッフみんなで業務を分担できる職場環境にしたい

お申込みはコチラ



6月26日(月)まで
※当日必着

主催：名古屋市

企画運営：NPO法人ボランティアネイバース

申込

申込フォームに、必要事項をご記入の上、お申込みください。

申込締切
6月26日(月)
※当日必着

ヒアリング

お送りいただいた申込事項をより詳しくお伺いするために、ヒアリングを行います。

支援団体の決定

7月中旬に、結果をメールにてお知らせします。

専門家ヒアリング

課題に適した専門家をコーディネーターが調整し、伴走支援計画を作成します。

支援

伴走支援計画に基づき、専門家・コーディネーターと共に実行します(8回程度)。

次のステップへ

伴走支援を振り返り、今後の展開につなげます。



●実施概要

実施期間:2023年8月~2024年2月(予定)

対象:名古屋市内で活動する市民活動団体

ただし、以下の要件を満たすことが必要となります。

- ①組織内で伴走支援を受けることに一定の合意ができていること
- ②ヒアリングに出席できること
- ③成果レポートの作成やアンケート等へのご協力がいただけること

定員:5団体程度

支援回数:1団体あたり8回程度(1回1~3時間まで)

費用:無料(専門家派遣の謝金・旅費等は不要です)

場所:対象団体への個別訪問・オンラインを併用

※ヒアリングにより、事業内容、支援内容等を確認した上で支援団体を決定します。

支援のステップ例① データのクラウド化

①専門家によるヒアリング(2時間)

団体の活動概要や、組織の体制、将来の展望を代表者や担当者へヒアリング



②現状把握

実際の機器の使用状況を確認してヒアリングを元に作成した支援方針計画を整える

③④課題検討(2回)

組織文化や価値観を尊重した業務の改善を行うため、業務に関わる関係者へのヒアリングを行う

⑤⑥対策立案(2回)

現状をふまえたクラウドサービスの選定、必要な機器の導入準備



⑦対策実施

PC、利用端末の設定を確認し仮運用を開始

⑧評価・検証

仮運用期間の結果をもとに運用ルールを策定



●ヒアリング

日時:2023年7月6日(木)13:00~19:00

場所:オンライン(zoom)

※1団体あたり20分程度。申込書類に関する質疑を行います。

専門家はこんな人!

NPO 役職員としての現場経験者や NPO 支援に意欲を示している専門家です。中小企業診断士・ファンドレイザー・オンラインや IT (DX) の専門家・ファシリテーター等が訪問支援を行います。専門知識が皆さんの活動現場にマッチした支援になるようコーディネーターも入り、支援がスムーズに進むように調整します。

<専門分野>

クラウド化、オンライン配信、情報発信、映像制作、資金調達、クラウドファンディング、寄附募集、チームビルディング、事業再構築、事業化・収益化、事業承継、会員管理、仲間集め、業務の効率化、事業基盤整備、組織基盤整備、BCP(事業継続計画)の策定



支援のステップ例② 資金調達・ファンドレイジング

①専門家によるヒアリング(2時間)

団体のビジョン・ミッション、活動概要、組織体制、寄附の実績をヒアリング

②③現状把握(2回)

代表者、業務に関わる関係者へワークショップ形式でヒアリングを実施。寄附集めの意識を確認

④⑤課題検討(2回)

寄附実績を分析し、団体独自の成功体験をもとに寄附戦略を立てる



⑥対策立案

クラウドファンディングへの準備確認、過去の支援者リストの整理

⑦対策実施

クラウドファンディングの進捗確認、寄附者との関係構築方法を検討

⑧評価・検証

クラウドファンディングの実施結果を振り返り、取り組みノウハウを団体内で共有



ポストコロナの伴走支援とは?

社会課題が複雑化・多様化し、市民活動団体が担う社会的役割は、ますます重要になっています。しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大により、活動や事業の一部停止や収益の減少など、大きな影響を受けています。こうした状況を踏まえ、ウィズコロナ・ポストコロナにおいても、事業の継続・発展が見込めるよう、市民活動団体を支援します。活動のオンライン化や資金調達など、各団体の抱える課題に応じて、その分野の専門家が皆さんと一緒に課題解決に向けて伴走支援します。

説明会を開催します!

日時 2023年5月30日(火)

17:30~18:30

場所 オンライン(zoom)

★下記のフォームにてお申し込みください。



前日の17時までに受付確認メールが届かない場合は、問合せ先へご連絡ください。



説明会は、伴走支援に関する説明や質疑応答を予定しています。